

I 急病のときの対応

4. 耳だれがあるとき

家庭での処置

1. 耳だれの性状を確認。
2. 耳痛、発熱の確認。
3. 患部を冷やす。
4. 耳につめものをしない。



その後の対応



家庭で経過をみる、又は翌日に病院受診

機嫌もよく他に症状がない。



その時点で病院受診

激しい耳痛がある(乳児の場合泣き止まない)。高熱を伴う。

家庭で看る時のポイント

茶色でネットリしているのは、柔らかい耳あかです。透明にちかい少量の耳だれは、耳の穴の湿疹や外耳道炎のことが多いです。

耳だれが出て耳の痛みがないか、我慢できる程度、あるいは手持ちの鎮痛剤(熱冷ましの薬、座薬、内服薬など)で軽くなった場合は翌日耳鼻科を受診しましょう。

中耳炎は耳の奥にある鼓膜の内側に膿がたまったもので、たくさんたまると鼓膜が破れて出てきます。破れるまで痛がりますが、破れると痛みは改善してきます。